

WFA-2018での海外論文発表



目で見る
海外論文発表

山本 啓*

WFA-2018 in Egypt

Key Words : Friction stir processing, Welding, Fatigue strength,
High-strength low-alloy steel

<参加会議名>

WFA-2018 (4th International Conference “Welding and Failure Analysis of Engineering Materials”)

<開催場所> エジプト・アスワン

<渡航期間> 2018年11月18～24日

<発表タイトル>

Weld toe modification by friction stir processing using a spherical tip tool in high-strength low-alloy steel joints

私は2018年11月19～22日の期間にエジプト・アスワンで開催された国際会議 WFA-2018 (4th International Conference “Welding and Failure Analysis of Engineering Materials”)に参加し、自身の博士論文研究に関連する成果について、口頭発表を行いました。本会議は、主に構造材料の信頼性・機能性の向上を目指した溶接・接合技術や、損傷解析に関する研究に焦点を当てており、カイロ大学中央冶金研究所と大阪大学接合科学研究所の共同開催を通じて、両国・両大学間における交流の促進を目的としています。2011年に第1回が開催されて以降、今回が第4回で、自身にとっては前回に続き2度目の参加となりました。

会場には、現地の大学・企業のみならず、世界各国から数多くの研究者が招待されており、様々な材

料や溶接・接合技術を扱った最先端の研究成果を見聞することができました。なかでも、摩擦攪拌接合等の固相プロセスに関する講演が多くみられ、私の研究もそれらに関係した摩擦攪拌プロセスと呼ばれる表面改質手法を対象としています。今回、私は鉄鋼材料の溶接部の疲労特性を強化するための後処理手法としての摩擦攪拌プロセスの効果について発表しました。前回と比較して、英語でのプレゼンテーションスキルの上達を実感でき、多くの聴講者に自身の研究について興味を持って聞いていただけたので、非常に有意義な時間を過ごすことができました。また、その後のバンケットやツアーでは、同世代の他国の研究者と交流する機会もあり、大きな刺激となりました。

最後に、本会議への参加にあたり、多大なる御支援を賜りました生産技術振興協会に、心より感謝申し上げます。



写真1 発表の様子



写真2 参加証



写真3 バンケットでの交流



写真4 アブ・シンベル神殿



* Hajime YAMAMOTO

1991年10月生まれ
大阪大学大学院 工学研究科 マテリアル生産科学専攻卒業 (2016年)
現在、大阪大学 接合科学研究所 接合機構研究部門 溶接機構学分野
博士後期課程3年 修士(工学)
接合科学・材料工学
TEL : 06-6879-8664
FAX : 06-6879-8664
E-mail : h.yamamoto@jwri.osaka-u.ac.jp